

大会名称: **第6回全国障害者スポーツ大会(のじぎく兵庫大会)**
バスケットボール競技

開催場所: **グリーンアリーナ神戸Aコート**

試合区分: **No. 121 男子 2回戦** 主審: **香月 太**

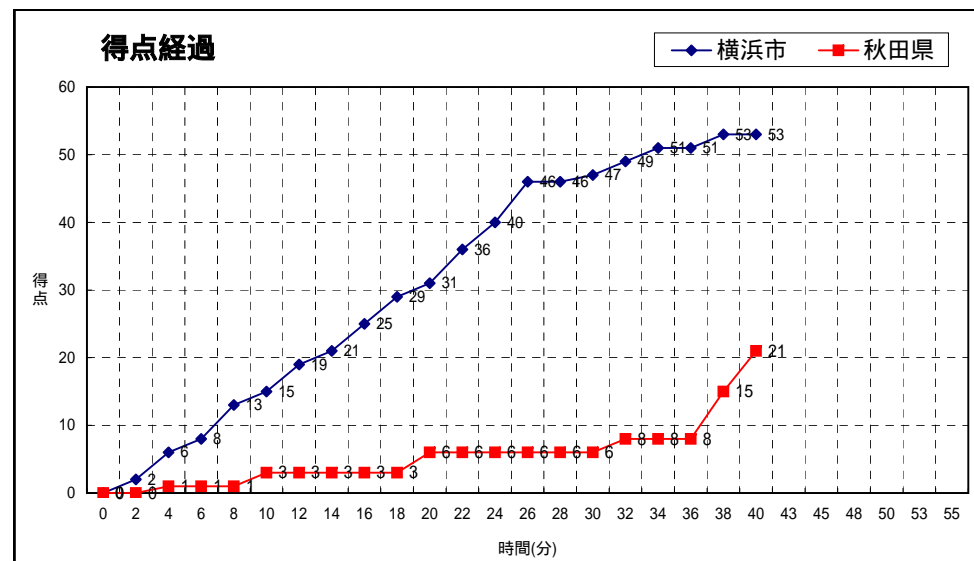
期 日: **2006(H18)年10月15日(日)** 副審: **松本 隆**

開始時間: **10:00**

終了時間: **11:35**

横浜市						秋田県									
53						21									
15 -st1- 3															
16 -2nd- 3															
16 -3rd- 0															
6 -4th- 15															
-OT1-															
-OT2-															
-OT3-															
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	津恵 祥平	13	1	5	0	1	4	*	齊藤 芳樹	14	0	6	2	3
5	*	守屋 拓真	18	0	9	0	3	5	*	加藤 優	0	0	0	0	3
6		佐藤 浩	2	0	1	0	0	6		加藤 裕士	0	0	0	0	0
7	*	中野 貴文	15	0	6	3	3	7	*	谷 隼人	2	0	1	0	4
8	*	長谷部 晃司	4	0	2	0	0	8	*	渡邊 三成	1	0	0	1	5
9		代 淳太郎	0	0	0	0	0	9		高橋 愛児	-	-	-	-	-
10		藤巻 光	0	0	0	0	0	10		佐藤 義孝	0	0	0	0	0
11	*	高木 昂	0	0	0	0	2	11		金谷 友樹	2	0	1	0	0
12		小管 直昭	0	0	0	0	3	12		熊谷 優希	-	-	-	-	-
13		佐藤 慎太郎	0	0	0	0	1	13	*	村上 正幸	2	0	1	0	1
14		田代 雅士	1	0	0	1	0	14		笹森 陽裕	-	-	-	-	-
15		森岡 優	0	0	0	0	0								
コーチ 早川 忠雄								コーチ 北林 拓也							
合計			53	1	23	4	13	合計			21	0	9	3	16

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル



ゲームレポート

第1ピリオド、横浜市マンツーマンディフェンス、秋田県2-3ゾーンディフェンスでスタート。横浜市はスティールやディフェンスリバウンドからの速攻で得点をあげる。秋田県はガードの#4齊藤らがドライブを仕掛けるがターンオーバーが目立ち、得点をあげることができず苦しい展開となる。横浜市は秋田県のゾーンに対し#5守屋と#7中野の高さを生かしたハイロープレイ等で相手のファウルを誘い、リズムをつかむ。このピリオドは終始横浜市のペースで進み、15-3と横浜市がリードして終了した。

第2ピリオド、横浜市はディフェンスを2-3ゾーンに変え、秋田県のドライブに対抗する。秋田県はそのゾーンを攻めあぐみ、オフェンスのリズムがとれず逆に横浜市に速攻を許し、4分過ぎには3-21とリードを広げられてしまう。その後も横浜市は秋田県のゾーンディフェンスを#5守屋、#7中野のインサイドを軸とした効果的な攻撃で崩れていき、秋田県の反撃を許さず、横浜市が31-6とさらにリードを広げて前半を終了した。

第3ピリオド、秋田県はディフェンスを3-2ゾーンに変え反撃を試みるが、横浜市は#4津恵が落ち着いたパス回しでインサイドにボールを集め、着実に得点を重ねていく。秋田県は何度か速攻のチャンスをつかむもシュートが決まらず、5分過ぎには横浜市が40点のリードを奪う。秋田県は#4齊藤や#7谷が果敢に1on1を仕掛けるも、横浜市のディフェンスに跳ね返され、反撃の糸口がつかめない。余裕の出た横浜市は終盤にメンバーを入れ替えるも、47-6と大きくリードしたままこのピリオドを終了した。

第4ピリオド、少しでも点差を縮めたい秋田県であるが、横浜市#5守屋、#7中野にリバウンドを支配され、シュートが単発で終わってしまう。大量リードの横浜市は、その後も余裕を持ったゲーム運びで53-21と勝利し、準決勝へ駒を進めた。最後まで諦めずに戦った秋田県のひたむきな姿勢に拍手を送りたい。

担当者: 藤永 和也(兵庫県バスケットボール協会)

(財)日本障害者スポーツ協会